

1 建物コンセプト

機能が連携・融合した
施設づくり



- ・ヒト・モノ・コトがつながる場所
- ・活動や挑戦をサポートしてくれる場所
- ・厚真らしさ・厚真を考える場所
- ・地域の情報ハブとなる施設

施設と広場が一体と
なった「まちのリビン
グ」づくり



- ・リラックスできる場所
- ・食が楽しめる場所
- ・学習や仕事ができる場所
- ・子どもや子育て世代が過ごせる場所

町民が参加する施設の
運営・活用

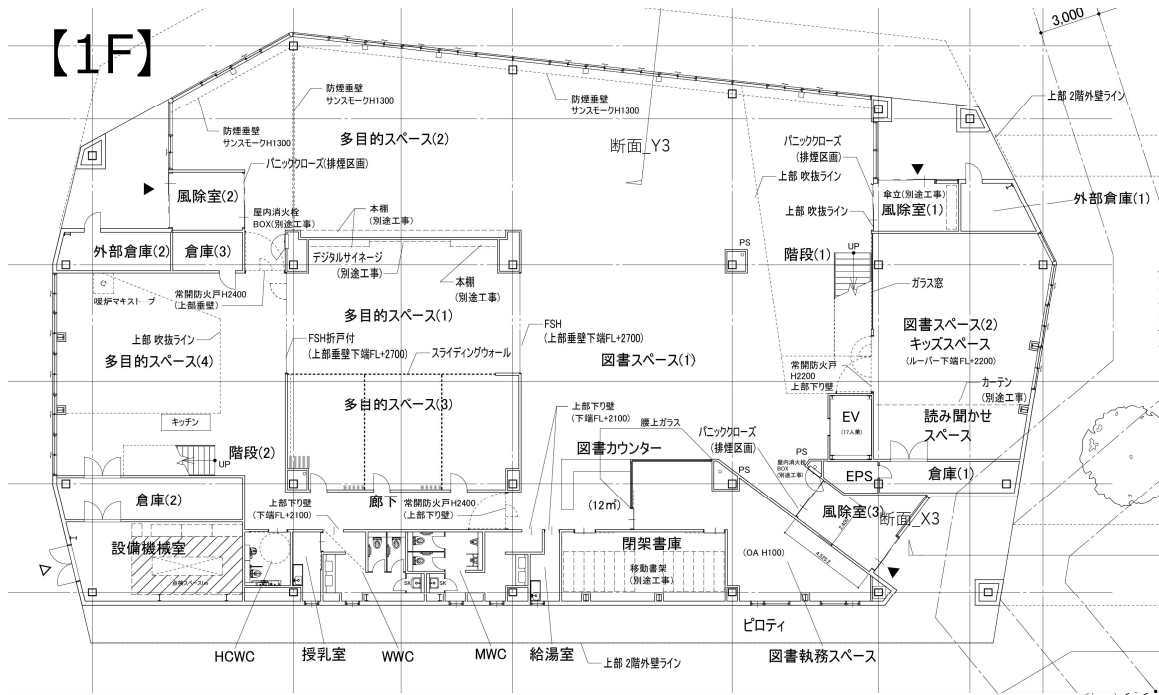


- ・町民と共に企画・運営を目指す施設整備
- ・学校教育との連携
- ・新しいことへの挑戦を後押しする施設

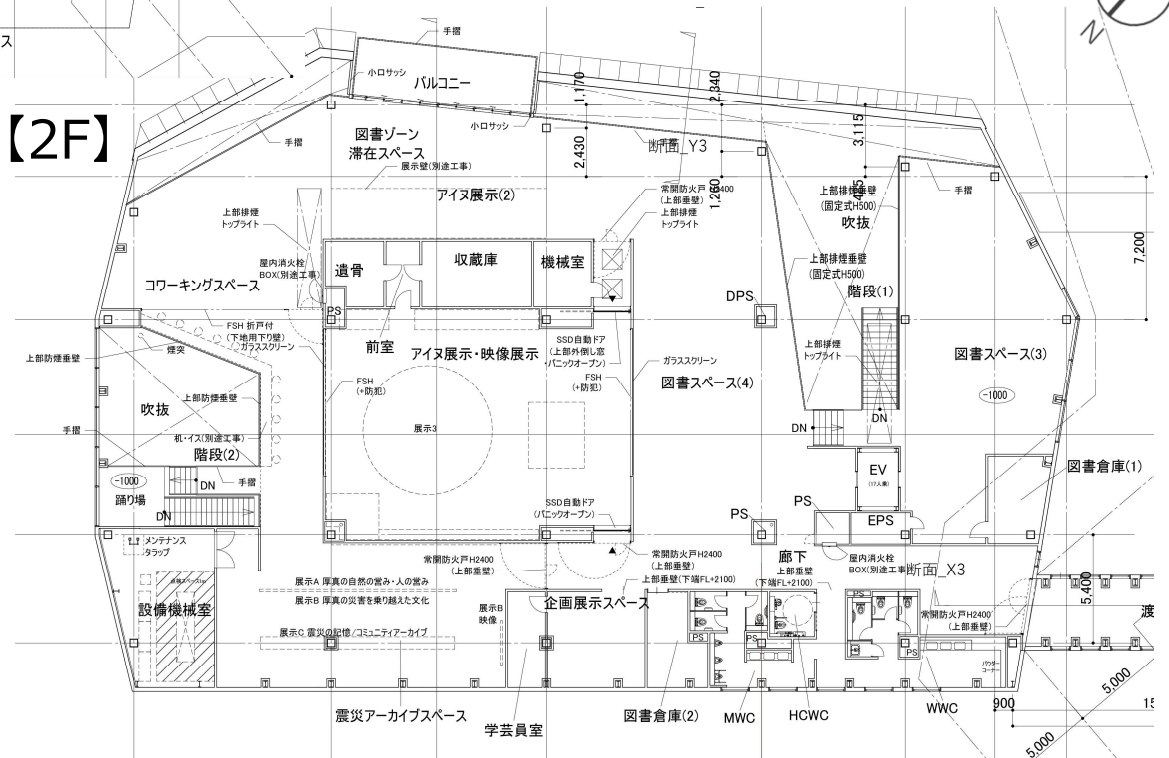
2 平面図 (検討中)

- 構造・階数：鉄骨造・2階建て
- 面積：2,374.19㎡
(1階 1,179.63㎡ ・ 2階 1,194.56㎡)

【1F】



【2F】

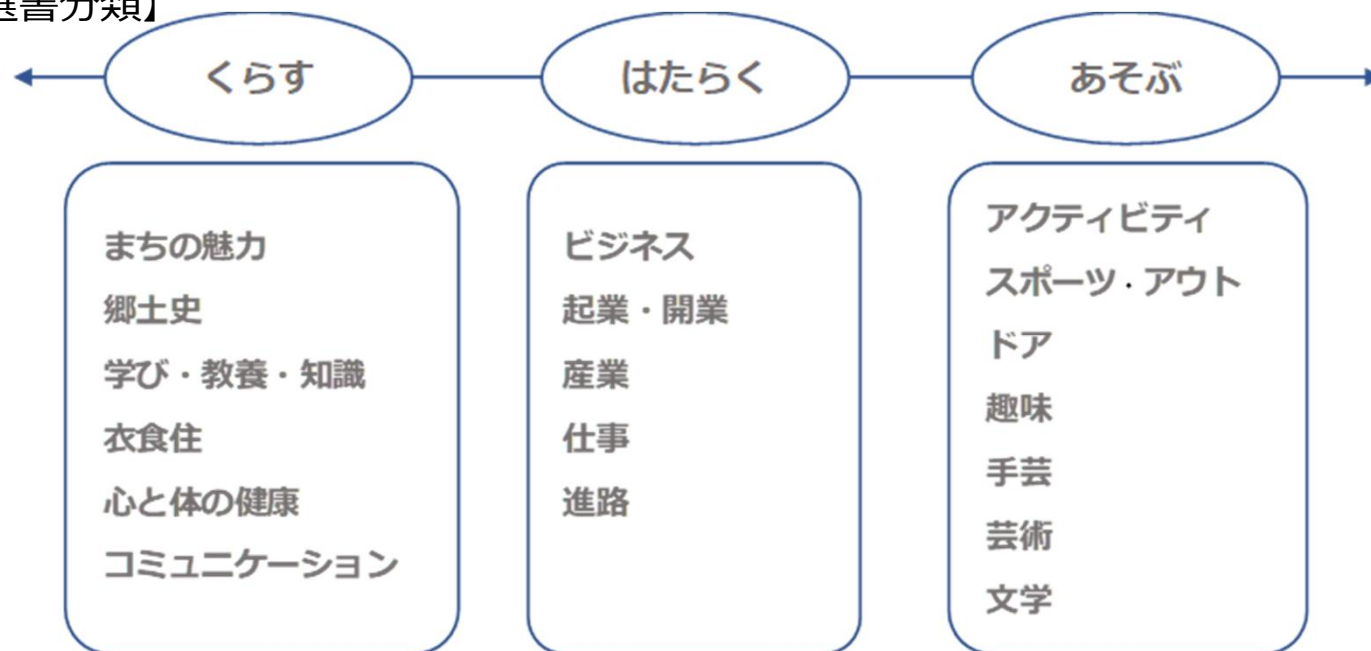


3 図書スペースの考え方

<コンセプト>
「“やりたい” を 実現する」

- ◇ 図書館法に準拠した図書館仕様に過度に縛られない運営形態
- ◇ 厚真町ならではの特色ある選書
- ◇ 来館者の興味・関心に応じて本と出会うテーマ別配架（脱十進分類法）
- ◇ 施設内の他の機能との関連性・融合性を確保
- ◇ 本の貸出を行わない“滞在型”の図書・情報スペース
- ◇ レファレンスへの対応

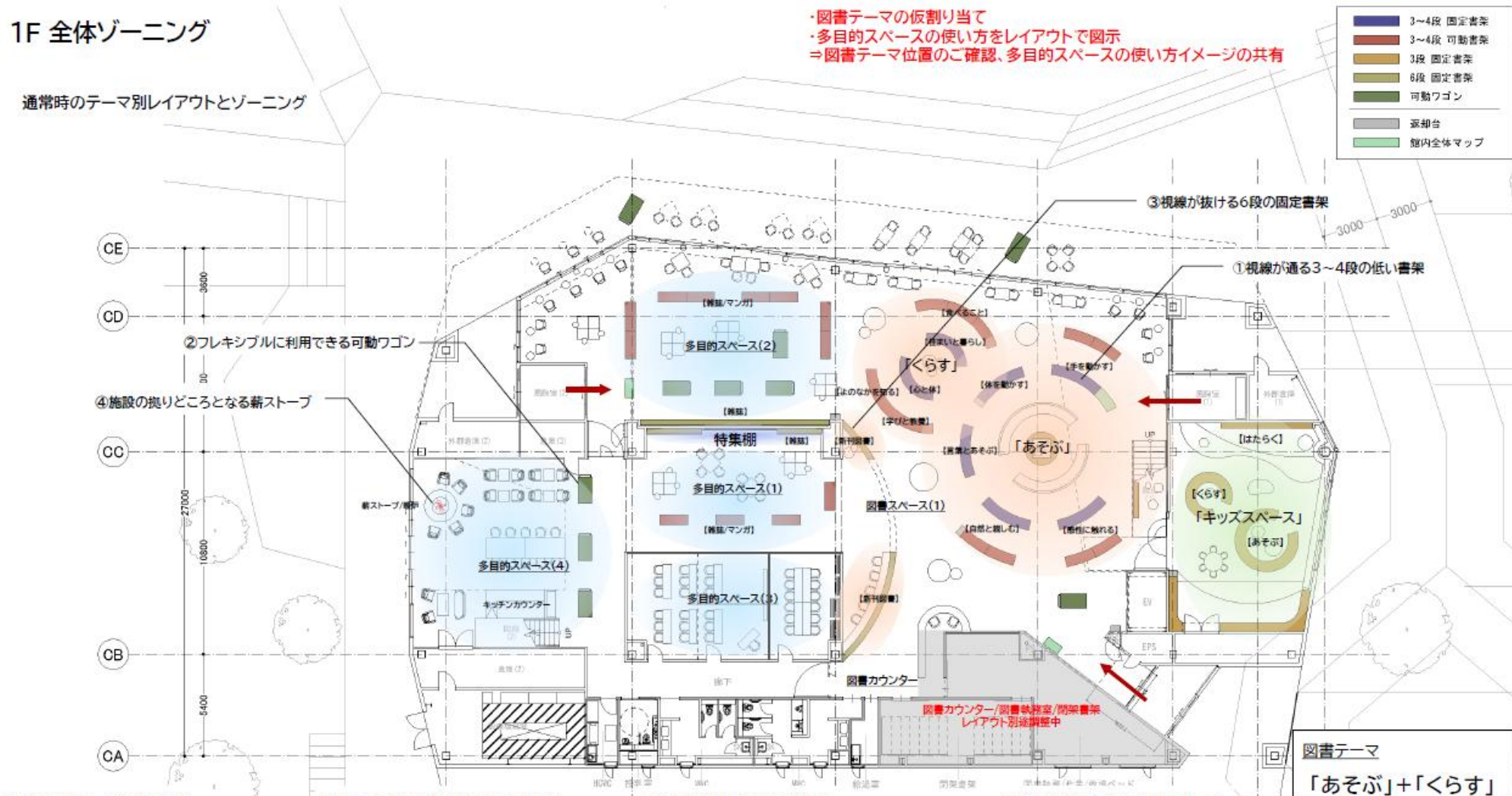
【配架のテーマ・選書分類】



4 空間イメージ① (検討中)

1F 全体ゾーニング

通常時のテーマ別レイアウトとゾーニング



①視線が通る3~4段の低い書架



1階は視線の通る低い書架を採用し、空間をゆるやかにつなぎ
 圧迫感を感じさせない空間に。固定のものだけでなく可動書架を
 配置しテーマ別の図書に合わせて柔軟に対応できるつくり

②フレキシブルに利用できる可動ワゴン



通常時は書架として利用したり、イベント時にはマルシェの販売台
 として利用できるようなフレキシブルさのある造作什器。
 ※台数については要確認

③視線が抜ける6段の固定書架



中央の壁周りを活用し、天井付近までの書架を配置することで壁との間に
 スペースを作り、少し囲まれた閲覧スペースを配置。書架の背板はなく、
 視線は抜けるような書架に。

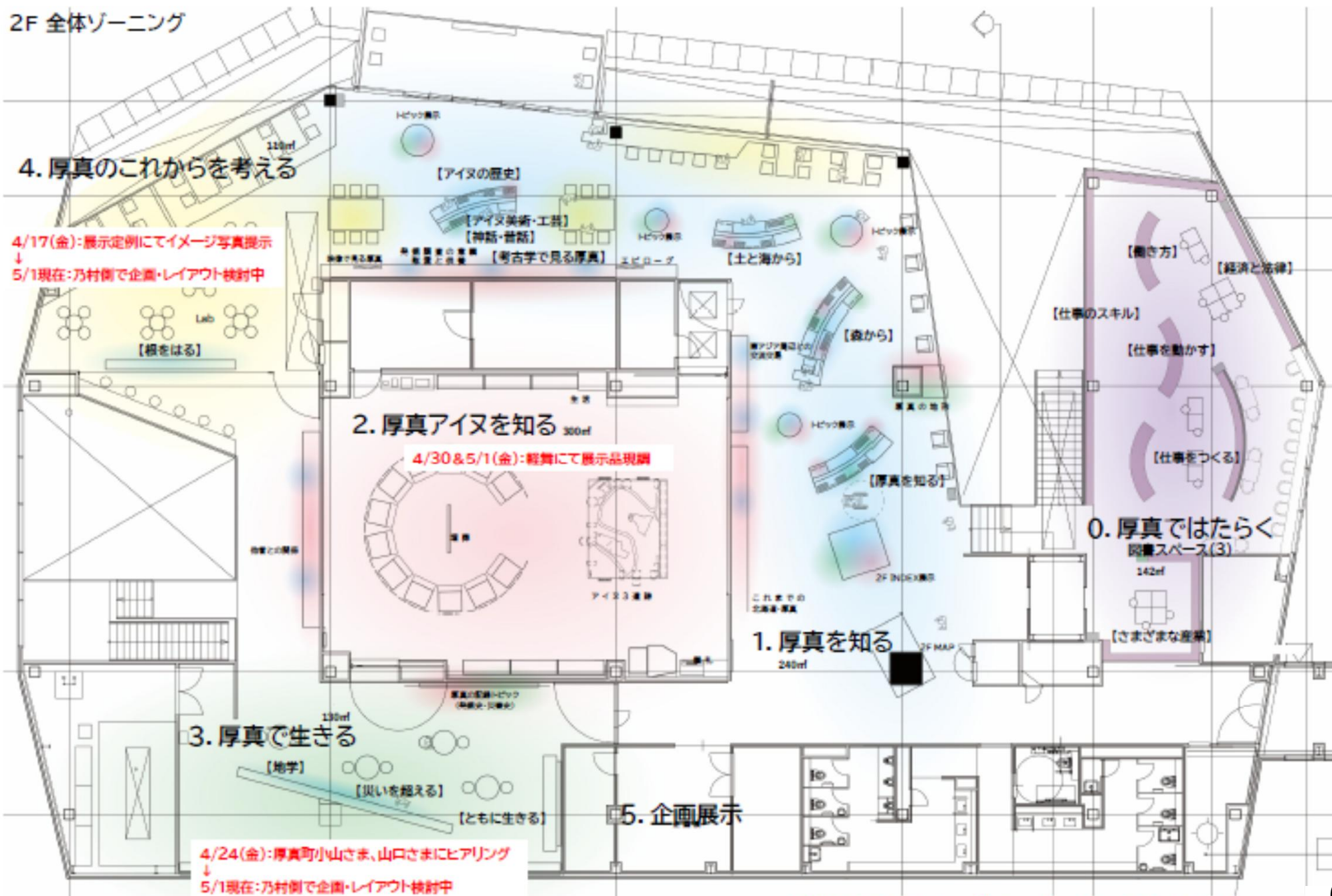
④施設の拠りどころとなる薪ストーブ



施設の拠りどころとなるようも薪ストーブを多目的
 スペースに配置し、施設のシンボルとして薪ストーブ
 目当てに人が集まるようなにぎわいある場所に。

4 空間イメージ② (検討中)

2F 全体ゾーニング



・図書館総合研究所さまの【中テーマ】に合わせ書架の数を調整
・各エリアの現状を赤字で追記

5 パース①



2026年3月25日時点のイメージです。今後の詳細検討により計画が変わる可能性があります。

京町1号線側から見た全体のイメージ

5 パース②



広場側から見た全体のイメージ

5 パース③



2026年3月25日時点のイメージです。今後の詳細検討により計画が変わる可能性があります。

文化交流施設 1Fと広場への繋がりイメージ

5 パース④



文化交流施設2Fのイメージ

5 パース⑤



文化交流施設2Fバルコニーのイメージ